

我榆陵に

行秋哀歌

(平成二年度寮歌)

木村政明君 作歌

田口拓君 作曲

一

あしび
足引きの手稲の峰よ
はろ
遙けくも偉大なるかな
おこそ
巖かに夕陽は沈み
やまぎわ
山際に映えては著し
たそがれ
黄昏の山並みを愛ず
りようせん
稜線の美しさ永遠に

二

ひと
人の世は移ろいやすく
きよう
今日の夢明日は空しき
は
されど葉の散る梢には
ひそ
潜みたり次代の若芽
とも
ああ友よ理想の世界
いつの日か成るを夢見む

三

なみきじ
並木路は黄金に映えて
あき
秋の日の愁いを誘う
ひとけな
人氣無き小道歩かば
むね
胸に湧け孤高の思い
かぜ
風に舞え飄飄学徒
まも
いざ守らむ真理の灯

四

またた
瞬くは北斗の星か
わがすす
我進む道を照らさむ
あお
仰ぎ見む悠久の天
おも
思わずや遠き故郷
ゆめわが
夢若き春の旅路よ
わがおか
我榆陵に清き花咲け